

令和6年度 富来小学校教育目標及び教育方針（経営ビジョン）

I 学校教育目標 「ふるさとに学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

（1）めざす学校像 「保護者や地域の期待に応え、子どもが安心して学べる学校」

- ①子どもたちの笑顔が溢れ、「大好きな富来小学校」と誇れる学校
- ②子どもたちが、楽しく主体的に安心して学べる学校
- ③保護者、地域と連携し、信頼される学校

（2）めざす児童像 「笑顔いっぱい」の富来っ子

- ① 進んで学ぶ子 → 自ら考え、主体的に学び、行動する子
- ② 規範意識のある子 → 相手の立場や考えを理解し、集団で協働する子
- ③ たくましい子 → 健康な体と心を持ち、最後までやり抜く子
- ④ しっかり伝える子 → 場に応じて自分の思いを素直に表現しようとする子

かしこく なかよく たくましく

（3）めざす教師像 「自覚と使命感のあるプロ教師」

- ① 一人一人を大切にし、児童、保護者に信頼される教職員
- ② 教育目標の具現化に向けて組織的に取り組む教職員
- ③ 自らの指導力向上を図り、互いに高め合い協力し合う教職員
- ④ 地域の方と連携し、地域を愛し、地域と共に歩む教職

II 経営方針

「知・徳・体」の調和の取れた人間性豊かな児童の育成をめざし、家庭・地域との連携を図りながら信頼される学校づくりに努める。

- （1）学校経営計画のもと、全教職員がベクトルを合わせ、よりよい学校づくりに努める。
- （2）全教育活動を通して、知徳体のバランスの取れた児童の育成に努める。
- （3）一人一人の児童を理解し、大切にしていける教育の実践に努め、集団としての高まりを図る。
- （4）郷土の文化や伝統を大切にし、世界に目を向ける子の育成に努める。
- （5）開かれた学校づくり、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進する。

III 本年度の指導の重点項目

（1）「志賀町学校教育モデル」の実践 ～富来小中で9年間をスパンとした学びの推進～

（2）ICT教育（GIGAスクール構想事業）の推進

（3）教育相談と特別支援体制の充実（いじめ・不登校・発達障害等への対応）

（4）教職員の働き方改革の推進

- （5）組織的な学校運営
- （6）確かな学力の育成（知）
- （7）豊かな心の育成（徳）
- （8）健やかな体の育成（体）
- （9）家庭・地域との連携

Ⅳ 具体的方策

(1) 「志賀町学校教育モデル」の実践

- ① 小中9年間における学び系統性を意識した実践を、ふるさと教育を中心に行っていく。
- ② 児童主体の「個別最適な学びと協働的な学びを往還する授業」を促進する。
- ③ 日常の外国語教育、全学年でのプログラミング的思考の育成を図る。
- ④ キャリアパスポートを活用するとともに、日々の活動の中にキャリア教育を見出し価値づける。
- ⑤ 地域に根ざした学習活動を推進するとともに、学年に応じた体験活動を計画的に行う。

(2) ICT教育（GIGAスクール構想事業）の推進

- ① ICTサポーター等を講師に校内研修やOJT等で、教職員のICT活用指導力を高める。
- ② 協働的な学びの場面でのタブレットの活用を推進する。

(3) 教育相談と特別支援体制の充実（いじめ・不登校・発達障害等への対応）

- ① 時機を逃さず各種校内委員会を開催し、組織的な対応のもと、児童の心理的安全を確保する。
- ② 定期的な児童理解の会で、児童の変化を共有し、役割分担を明確にする。
- ③ SOS教育の実施および医療や福祉等の関係機関と積極的に連携する。

(4) 教職員の働き方改革の推進

- ① 校務の平準化を図るためできることは協力し、見通しを持って業務にあたる。
- ② 最終退校時刻を目標に業務にあたるとともに、各教職員が独自に定時退校日を決め実行する。
- ③ 校務支援システムの有効活用や業務のデジタル化を推進する。

(5) 組織的な学校運営

- ① 教職員が組織の一員として役割を分担し、PDCAサイクルを回していく。
- ② 災害や事故、いじめ等の危機管理に関する研修を行い、教職員の対応力向上を図り、安全対策と危機管理体制を確立する。特に地震対応を見直し、小中で安全な対応を強化する。

(6) 確かな学力の育成（知）

- ① 学校研究と学力向上ロードマップと連携し、主体的に学ぶ子の育成を目指し、学力を高めていく。
- ② スマートスクールネットの問題を積極的に活用し、基礎学力および活用力の向上を図る。
- ③ 「家庭学習のすすめ」を有効活用し、学校と家庭が連携して家庭学習の習慣化を推進する。

(7) 豊かな心の育成（徳）

- ① 全職員が一人一人の児童を大切にしていくなかで、生徒指導の4視点を生かした積極的な指導をする。
- ② 失敗の肯定面を大切にし、自ら立ち直るために適切な支援を行う。
- ③ 縦割り班活動をさらに充実し、友だちのよいところを積極的に認め、自己有用感を高める。

(8) 健やかな体の育成（体）

- ① 体力アップ1校1プランを実践し、年間を通してスポチャレに取り組む。
- ② 健康な体づくりへの保健指導を行い、けがの防止に努める。

(9) 家庭、地域との連携

- ① 小中で協力し、地域の人材や教育資源の活用を積極的に推進する。
- ② メディアコントロールを推進し、メディアと適切に接する生活ができるようにする。
- ③ 学校教育活動を家庭や地域に積極的に公開し、情報発信に努める。

☆「関わる・気づく・つなぐ」をキーワードに前向きで持続的な学校風土を築く

- ① 互いを尊重し、「関わる」組織をつくる
- ② 感覚を研ぎ澄まし、小さな変化にも「気づく」組織をつくる
- ③ つながりを意識し、「つなぐ」組織をつくる